



広報たるい 合併 35 周年
町制施行 100 周年 記念特集号



ごあいさつ 垂井町長 松井 修

垂井町は、昭和29年9月10日に町村合併以来35周年を、また、明治22年7月1日町制施行以来100周年を迎えました。

本町は、豊かな自然と先人のためめめ努力によって築かれた基盤を背景に、魅力あるまちづくりを着実に推進してきました。

しかし、今日、高齢化、高度情報化、国際化などの波が押しよせるなかで、私たちを取り巻く環境は、めまぐるしく変化しています。

こうした状況のなかで、いかに地域を活性化するのが今日の課題となっています。

本町では、節目となる今年地域の活性化に一層弾みをつけるべく、まちづくりイベント「ふれあい垂井ピア89」を開催するにいたりました。

今後、21世紀に向けて「緑あふれる 生き生きとした心のふれあうまち」をめざして、町民と行政が一体となったまちづくりを推進していきたいと考えています。

町民のみなさんとともに、わが町の歩みをいま一度振り返り、将来のまちづくりに想いをはせてみたいと存じます。



●町の木/ケヤキ



●町の花/ツバキ

町民憲章

私たちは、伊吹おろしの風雪にたえてきた垂井町の町民です。

私たちは、みんなで力を合わせ、いきいきとしたよい町づくりにねがいをこめて、この町民憲章を定めます。

○ 緑と花と太陽のある
明るいまちをつくりましょう。

○ きまりを守り、老いも若きも手をとりあって、幸せの輪をひろげましょう。

○ からだをきたえ、仕事にはげみ、くらしに生きがいをもつけましょう。

○ 香り高い文化にしたいしみ、こころ豊かな教養を身につけましょう。

○ 青少年に希望と誇りをもたせ、伸びゆくまちをめざしましょう。



町の移り変わり



明治元年現在			年	1877年 明治10年	1887年 明治20年	1897年 明治30年	1907年 明治40年	1912年 大正元年	1926年 昭和元年	1935年 昭和10年	1945年 昭和20年	1955年 昭和30年
藩	郡	町 村 名										
幕領（大垣預）・南宮社領・金蓮寺領	不破郡	垂井村			明22.7.1 町制施行						垂井町	垂井町 昭29.9.10 5町村及び 荒崎村の一部旧綾戸の 区域を合併
幕領（大垣預）・南宮社領		宮代村									宮代村	
幕領（大垣預）		表佐村									表佐村	
加藤平内幕領（大垣預）・名古屋藩		府中村		府中村		（明30.4.1） 7村合併				府中村		
幕領（大垣預）		大滝村		大滝村								
別所孫四郎・名古屋藩		新井村		新井村								
神長左衛門		梅谷村		梅谷村								
名古屋藩		敷原村		敷原村								
神長左衛門		市ノ尾村		市ノ尾村								
津田与之助		平尾村		平尾村								
竹中丹後		岩手村		岩手村		（明30.4.1 2村及び 相川村の一部伊吹の 区域を合併）				岩手村		
名古屋藩		伊吹村		伊吹村	相川村							
幕領（大垣預）		（野上村）		（野上村）	（明22.7.1） 2村合併		（明30.4.1旧野上村の 区域は関原村へ編入）					
名古屋藩・長谷川甚兵衛		大石村		大石村							荒崎村 （昭29.10.1 旧長松村 外2村の区域は大垣 市へ編入）	
大垣藩		（長松村）		長松村		（明30.4.1） 4村合併						
幕領（大垣預）		（島村）		島村								
名古屋藩		（十六村）		十六村								
		綾戸村		綾戸村							合原村 （昭29.12.1 旧栗原村の 区域を編入） （昭29.11.3 旧室原村の 区域は養老町へ編入）	
幕領（大垣預）		栗原村		栗原村		（明30.4.1） 2村合併						
		（室原村）		室原村								

合併後の町の移り変わり



昭和29年 (1954)

- 9 月 ○町村合併促進法にもとづき、垂井町、宮代村、表佐村、府中村、岩手村と荒崎村大字綾戸をもって新しい垂井町ができる
- 町長職務執行者に立川鉄雄氏
- 町消防団を設立。

- 10月 ○町長選挙執行、初代町長に多賀多門氏就任
- 12月 ○合原村の栗原地区が合併

昭和30年 (1955)

- 3 月 ○役場は団体事務所 (旧郡役所) に移転
- 4 月 ○町議会議員選挙、町教育委員会委員選挙執行
- 8 月 ○町観光協会が発足

昭和31年 (1956)

- 11月 ○日紡(株) [現ユニチカ(株)] ビニロン工場増設の調印

昭和32年 (1957)

- 11月 ○桜橋完成
- 12月 ○梅谷に簡易水道新設

昭和33年 (1958)

- 10月 ○町長選挙執行、第2代町長に国枝利一氏就任



堤防決壊

昭和34年 (1959)

- 3 月 ○日本無機繊維工業(株)と工場誘致の調印
- 4 月 ○町議会議員選挙執行 (大選挙区定員26人)
- 8 月 ○集中豪雨により表佐石田地内で相川堤防決壊
○水害対策本部設置
- 9 月 ○伊勢湾台風襲来、相川堤決壊
○町上水道を設置

昭和35年 (1960)

- 5 月 ○町森林組合発足
- 10月 ○第15回国体 (熊本県) で日紡垂井女子ソフトボールチームが初優勝
- 11月 ○帝人製機(株)と工場誘致の調印



工場誘致の調印

昭和36年 (1961)

- 3 月 ○大日金属工業(株)と工場誘致の調印
- 8 月 ○朝倉公園の開発に着手
- 9 月 ○(株)郷鉄工所と工場誘致の調印

昭和37年 (1962)

- 2 月 ○池田物産(株)と工場誘致の調印
- 5 月 ○交通安全の町を宣言
- 7 月 ○町章を制定
- 9 月 ○町長選挙執行、第3代町長に矢木野辨二氏就任

昭和38年 (1963)

- 3 月 ○ナニワ工機 [現アルナ工機(株)] と工場誘致の調印

- 4 月 ○町議会議員選挙執行 (選挙区を小選挙区とし定数22人)

昭和39年 (1964)

- 1 月 ○三和シャッター工業(株)と工場誘致の調印
- 8 月 ○光和(株)と工場誘致の調印 [現ワコー樹脂(株)]
- 9 月 ○不破中学校校舎改築完成

昭和40年 (1965)

- 1 月 ○角一ゴム(株) [現クラレプラスチック(株)] と工場誘致の調印
- 10月 ○第20回国体が岐阜県で開催され、弓道を垂井町で行う

昭和41年 (1966)

- 4 月 ○町内のゴミ収集を開始
- 9 月 ○町長選挙並びに町議会議員補欠選挙執行、第4代町長に矢木野辨二氏就任
- 11月 ○役場新庁舎落成



役場庁舎

昭和42年 (1967)

- 4 月 ○(株)植谷柿羊かん本舗と工場誘致の調印

昭和43年 (1968)

- 5 月 ○垂井町・関ヶ原町消防組合を設立
- 11月 ○町史“史料編”を発行

昭和44年 (1969)

- 1 月 ○学校給食センター完成
- 11月 ○町史“通史編”を発行

昭和45年 (1970)

- 2 月 ○帝人製機(株)と第2工場誘致の調印
- 北川金属工業(株)〔現安田金属〕と工場誘致の調印
- 3 月 ○日東レース(株)と工場誘致の調印

- 9 月 ○町長選挙執行、第5代町長に矢木野辨二氏就任

昭和46年 (1971)

- 3 月 ○町墓地公園設置
- 町公民館完成

昭和47年 (1972)

- 4 月 ○防災行政無線施設完成
- 西南濃老人福祉施設組合を設立
- 12月 ○町総合計画基本構想きまる 町の将来像は「豊かな田園工業都市」

昭和48年 (1973)

- 4 月 ○各小学校校下に幼稚園開園

昭和49年 (1974)

- 7 月 ○集中豪雨(床下浸水200世帯)
- 9 月 ○町長選挙執行、第6代町長に早野光二郎氏就任
- 町の木「けやき」を制定

昭和50年 (1975)

- 4 月 ○町議会議員選挙執行(大選挙区)
- 5 月 ○前町長矢木野辨二氏に名誉町民章を授与

昭和51年 (1976)

- 4 月 ○北中学校を開校
- 9 月 ○9・12集中豪雨災害

昭和52年 (1977)

- 3 月 ○永長町営住宅完成(4階建16戸)
- 5 月 ○町民憲章を制定

昭和53年 (1978)

- 3 月 ○保健センターを設置
- 4 月 ○不破消防組合消防本部完成
- 9 月 ○町長選挙、町議会補欠選挙執行、第7代町長に早野光二郎氏就任
- 清掃センター完成

昭和54年 (1979)

- 3 月 ○朝倉運動公園野球場完成
- 6 月 ○町民プール完成
- 11月 ○町民体育館完成

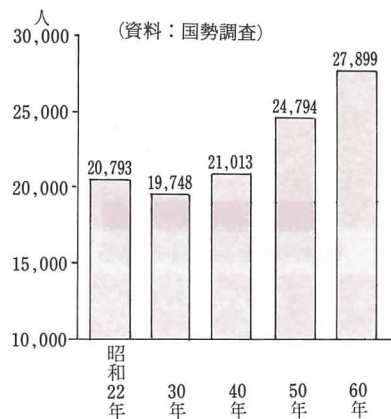
昭和55年 (1980)

- 3 月 ○勤労者体育センター完成
- 3 月 ○スポーツの町を宣言
- 5 月 ○ファミリー菜園を設置

昭和56年 (1981)

- 1 月 ○豪雪対策本部を設置

人口の変遷



- 10月 ○町高齢者能力活用協会(現大垣地域シルバー人材センター)が発足
- 11月 ○第1回町産業祭を開催

昭和57年 (1982)

- 4 月 ○“文化の殿堂”町文化会館完成
- 9 月 ○町長選挙、町議会議員補欠選挙執行、第8代町長に早野光二郎氏就任
- 12月 ○日比憲一氏に名誉町民章を授与

昭和58年 (1983)

- 4 月 ○東小学校開校、東幼稚園開園

昭和59年 (1984)

- 3月 ○垂井東町コミュニティセンター完成
- 9月 ○県総合防災訓練実施(相川児童公園)
- 合原小学校校舎移転

昭和60年 (1985)

- 1月 ○住民記録電算処理を開始
- 電算による印鑑登録即時発行開始
- 2月 ○勤労青少年ホーム完成
- 垂井西町コミュニティセンター完成
- 9月 ○町行政改革大綱策定
- 浅野元康氏に名誉町民章を授与
- 「垂井の泉」県の名水50選

昭和61年 (1986)

- 3月 ○宮代公民館改築
- 垂井中町コミュニティセンター完成
- コミュニティ防災センター完成
- 4月 ○広報たるい月2回発行開始
- 5月 ○防災ダム完成



北部防災ダム

- 県営ほ場整備完工
- 9月 ○町長選挙、町議会補欠選挙執行 第9代町長に松井修氏就任
- 10月 ○新垂井駅廃止
- 12月 ○早野光二郎氏に名誉町民章を授与

昭和62年 (1987)

- 2月 ○岩手小体育館改築
- 3月 ○東公民館完成
- 防災行政無線施設改修
- 駒引・表佐東部コミュニティセンター完成

昭和63年 (1988)

- 3月 ○第三次総合計画策定
- 町の将来像を「緑あふれる いきいきとした心のふれあうまち一健康文化都市」とする
- 保健センター完成
- 表佐小体育館改築



未来博「垂井町の日」

- 4月 ○営農飲雑用水一部給水開始
- 7月 ○ぎふ中部未来博「垂井町の日」に参加
- 8月 ○「垂井の文化財」発刊

平成元年 (1989)

- 1月 ○元号が「平成」となる
- 2月 ○ひとり暮らし老人等緊急通報システムスタート
- 農村工業導入による(株)三甲誘致契約調印
- 3月 ○ふれあい交流基金設立
- 岩手公民館完成

- 4月 ○西相川コミュニティセンター完成
- 学校給食センター新築
- 11月 ○「ふれあい垂井ピア89」を開催
- タイムカプセルを埋設(50年後に開封予定)



ふれあい垂井ピア



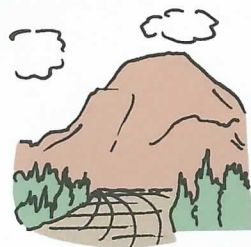
タイムカプセル埋設

現在の垂井町

本町は、岐阜県の西端部にあり、西方に伊吹山を望み、南東に向けて大きく濃尾平野が広がるなか、中央部を相川が流れるなど、美しく豊かな自然に恵まれています。

また、町の中央を東西に国道21号・JR東海道線が走るなど、恵まれた地理的条件を有しているため、昭和30年代から40年代にかけて工場を誘致した結果、多くの工場が国道21号沿いを中心に進出し、製造品出荷額が県下でも上位を占めるまでに発展しています。

【位置】



○位置 (役場)

北緯 35°22'02"
東経 136°31'48"
海拔 31.3m

○面積

総面積 5,584ha
農用地 1,181ha
森林原野 3,317ha
道路 207ha
宅地 572ha
その他 307ha

【人口】



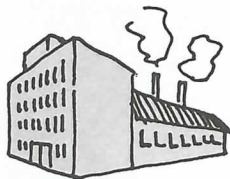
○人口 (平元9.30現在)

人口 28,453人

人口密度 509.5人/km²

1日当りの出生者 1.01人
1日当りの死亡者 0.63人
1日当りの転入者 3.0人
1日当りの転出者 2.4人
1日当りの婚姻 0.9件
1世帯当りの人口 3.6人

【経済基盤】



○経済基盤

農家数 (昭60.2.1現在) 1,942戸
専業農家 72戸
兼業農家 1,870戸
製造品出荷額 (昭62.12.31現在) 11,615,199万円
年間商品販売額 (昭63.6.1現在) 1,963,687万円
労働 (昭60.10.1現在) 産業別就業人口13,779人
第1次産業 4.9%
第2次産業 53.7%



第3次産業 41.4%

【財政】



○財政

平成元年度一般会計当初
予算1人当り

211,226円

町税1人当り

96,074円

【教育】



○教育 (平15.1現在)

小学校

学級数 82学級

児童数 2,376人

教員数 115人

中学校

学級数 37学級

生徒数 1,468人

教員数 66人

【安全】



○安全 (昭63年度)

火災発生件数 7件

火災損害額 2,526千円

人身事故 109件

死者 2人

負傷者 143人



タライピア地上絵